

設置期間	2021年4月～2026年3月			
研究課題名	ポスト=ヒューマン時代の起点としてのフランス象徴主義			
(英 文)	French Symbolism as the Starting Point of the Post-human Era			
研究目的の概要 (400字程度)	<p>19世紀を通じて大きな成長をとげた資本主義経済とテクノロジー、識字率の向上と出版・メディアの発展、第三共和政とともに決定的となった世俗化=脱キリスト教化は、社会と人々のメンタリティを決定的に規定すると同時に、こうした事態に対する批評意識を生み出した。フランス象徴主義はその端的な表現である。象徴主義者たちは、ブルジョア社会と産業資本主義に強い嫌悪感を示しているが、貨幣やテクノロジー、同時代の経済社会に対する考察は、その思索の本質的課題のひとつである。また、伝統的な信仰が成立しなくなった時代にあって「超越」との新たな関係が模索される。こうした社会や技術、宗教をめぐる省察を背景として、文学と芸術の新しい方式が、自由詩や内的独白をはじめとする様々な技法上の試みを通して追究されたが、そうした技法的変革も、自己の社会的規定性に対する批評意識によるものである以上、自己自身のあり方の変革を伴うものだった。詩人はたんに作品を書く人間ではなく、作品制作を通して自己の実存を変える者なのである。</p> <p>現在、グローバル経済と金融資本主義が席卷し、新しいテクノロジーが社会を一変させているが、私たちはその恩恵を享受するとともに強い息苦しさを感じている。伝統的な信仰は瀕死の状態だが、原理主義や新興宗教が勢いをもち、他方で「世界の終焉」が強く感じられる中で、近代的な「人間」以後の生存のあり方が模索されてもいる。19世紀後半に象徴主義が取り組んだ問題は、今日、こうしたポスト=ヒューマン時代を生きる私たちが直面する課題に通じる。その「起点」として象徴主義を複眼的に捉え直し現代を理解する示唆をえること、これが本研究の目的である。</p>			
研究会開催予定等	年10回程度 随時			
No.	班長・副班長	氏 名	区分	所属
1	班長	森本淳生	所内	
2		菅原百合絵	所内	
3		藤野志織	所内	
4		藤貴裕	所内	
5		村上祐二	学内（法人内）	文学研究科
6		鳥山定嗣	学内（法人内）	文学研究科
7		中筋朋	学内（法人内）	人間・環境学研究科
8		上田泰史	学内（法人内）	人間・環境学研究科
9		椎名隆一	学内（法人内）	文学研究科
10		西村真悟	学内（法人内）	文学研究科
11		浜永和希	国立大学	東京大学大学院人文社会系研究科
12		中田峻太郎	国立大学	東京大学大学院総合文化研究科
13		合田陽祐	国立大学	山形大学社会文化システム研究科
14		西村友樹雄	国立大学	一橋大学言語社会研究科
15		山田広昭	国立大学	東京大学大学院総合文化研究科
16		橋本知子	国立大学	千葉大学大学院人文科学研究院
17		坂巻康司	国立大学	東北大学大学院国際文化研究科
18		中野知律	国立大学	一橋大学社会学研究科
19		中畑寛之	国立大学	神戸大学人文学研究科

No.	班長・副班長	氏名	区分	所属
20		倉方健作	国立大学	九州大学言語文化研究院
21		岡本夢子	公立大学	滋賀県立大学人間文化学部
22		辻昌子	公立大学	大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター
23		野田農	私立大学	早稲田大学創造理工学部
24		福田裕大	私立大学	近畿大学国際学部
25		熊谷謙介	私立大学	神奈川大学国際日本学部
26		久保昭博	私立大学	関西学院大学文学部
27		足立和彦	私立大学	名城大学法学部法学科
28		松浦菜美子	私立大学	関西学院大学文学部
29		大出敦	私立大学	慶應義塾大学法学部
30		立花史	私立大学	早稲田大学
31		学谷亮	私立大学	中央大学文学部
32		黒木朋興	私立大学	上智大学
33		松村悠子	私立大学	早稲田大学
34		海老根龍介	私立大学	白百合女子大学
35		原大地	私立大学	慶應義塾大学
36		根岸徹郎	私立大学	専修大学 国際コミュニケーション学部
37		浅間哲平	私立大学	明治大学商学部
38		渡辺惟央	私立大学	慶應義塾大学文学部
39		袴田紘代	独立行政法人等公的研究機関	西洋美術館
40		フォコニエ、ブリス	無所属	